

吉野晴夫市長 誕生

4月25日 初登庁



市役所玄関前で市職員から花束を受け取る吉野新市長



市庁舎内で市職員を前にあいさつを行う新市長

4月22日に行われた前市長の辞任に伴う市長選挙で、当選を果たした吉野晴夫新市長が、4月25日午前10時に初登庁しました。

市役所玄関前では、市議会議員や市職員、市民の皆さんの出迎えを受け、市職員から花束が贈られました。

その後、市役所内で職員を前に「私は、この選挙でたくさんの方に直接触れ合い、生の声を聞いて、あらためて政治を志すものの自覚と市民が、何を求めているかを身にしてみ、ひしひしと感ずると共に、市長の責務の重大さを痛感しております。

五條市は、古い歴史と伝統を持ち、良好な自然環境に恵まれた静かな街であると共に、奈良と和歌山、吉野と大阪をつなぐ交通の要衝にあり、昭和32年市制施行以来、合併を重ねながら発展を続け、本年度50周年を迎えます。

しかしながら、国の三位一体の改革や、交付税の削減などにより、地方の財政は危機的状況であるのは、皆さんご存じの通りであります。

この財政危機を乗り越え、健全な新しい五條市をつくり、子や孫に誇れる、また夢と希望を感じることが出来る街を作りたいと考えております。」とあいさつを行いました。